

次世代の社会を担う子供の健やかな育成支援に関する法律

株式会社西京銀行 一般事業主行動計画

職員が仕事と育児を両立しながら能力を発揮し続けられるよう、次のように行動計画を策定する

1. 計画期間

2020年6月1日～2025年5月31日(5年間)

2. 目標・対策

【目標1】

両立支援制度の更なる周知・普及や意識啓発を行う

【取組内容】

- ・2020年6月～ 行内研修や土曜日セミナーを利用し、自社の両立支援制度や関係法令等について周知徹底を図る
- ・2020年10月～ 男性社員に、お子さまの出生時に父親が利用できる休暇や看護制度についてリーフレットを用いて情報提供を行い、制度利用を促す

【目標2】

育児休業期間中の労働者が安心して職場復帰できる環境を整える

【取組内容】

- ・2021年4月～ 育児休業者と定期的に情報提供をし、相談しやすい機会を設ける
- ・2021年4月～ 育休前、復職前に面談を実施し、復職後のキャリア形成をサポートする

女性の職業生活における活躍の推進に関する法律

株式会社西京銀行 行動計画

女性が就業継続し、多くの部署で能力を発揮・キャリア形成できるよう、次のように行動計画を策定する。

1. 計画期間

2019年4月1日～2022年3月31日(3年間)

2. 課題

- ・幅広い業務を経験する機会が少ない。
- ・業務により処遇の偏りがある。

3. 目標

- ・女性のさらなる職務領域の拡大をはかり、女性渉外の人数を25名以上とする
- ・正行員に対し、業務に関係なく一律に手当を支給

4. 取組内容

- ① 2019年4月～ 女性が苦手意識を持ちやすい業務について研修の参加・実施
- ② 2019年4月～ コミュニケーション手当の一律支給

女性活躍の現状及び中途採用率に関する情報公開

① 女性活躍の現状に関する情報公開

2021年3月31日現在

有給休暇取得率

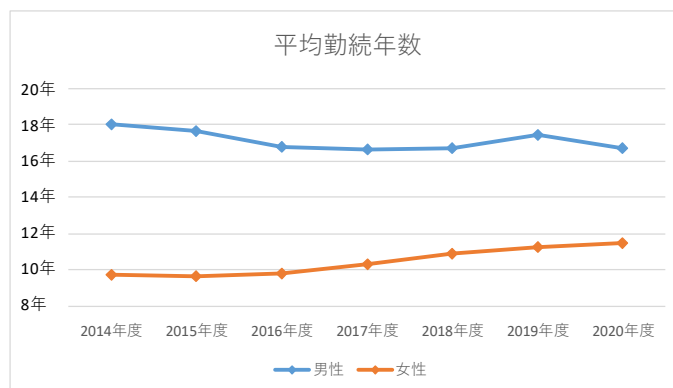
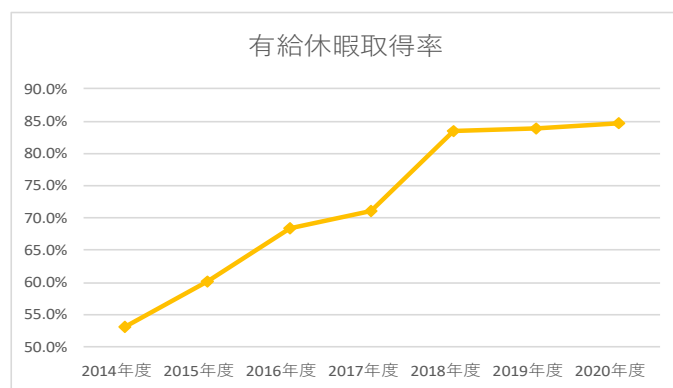
2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
53.1%	60.1%	68.5%	71.1%	83.4%	83.8%	84.8%

労働者に占める女性労働者の割合

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
総合職	7.6%	8.5%	10.6%	12.3%	13.7%	15.8%	15.8%
地域限定総合職	98.5%	97.2%	96.9%	97.5%	97.2%	97.9%	97.9%
契約・パート・嘱託	87.6%	82.9%	91.0%	90.6%	89.2%	84.1%	86.6%
派遣社員	93.3%	92.8%	94.7%	94.1%	92.9%	92.7%	90.0%

平均勤続年数

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
男性	18年0ヶ月	17年8ヶ月	16年10ヶ月	16年8ヶ月	16年9ヶ月	17年5ヶ月	16年9ヶ月
女性	9年9ヶ月	9年8ヶ月	9年10ヶ月	10年4ヶ月	10年11ヶ月	11年3ヶ月	11年6ヶ月



② 中途採用率に関する情報公開

2021年4月1日現在

中途採用率

2018年度	2019年度	2020年度
6%	11%	5%

「ワーク・ライフ・インテグレーション宣言」

当行では、平成 20 年に「ワーク・ライフ・バランス宣言」を行い、職員が仕事と生活の調和を図り、充実した人生を送るため、これまでさまざまな支援策を講じて参りました。

法定を上回る育児休業制度、短時間勤務制度、再雇用制度など、一生涯の勤続を可能にする基礎的諸制度の整備や、業務効率化・時間管理の徹底による平均退行 19 時の定着、各種福利厚生手当の充実を通じて、ライフスタイルの選択肢を広げるとともにその質の向上にも努めて参りました。

その結果として、平成 20 年に厚生労働省より山口県初の「次世代育成支援対策法基準適合事業主」として認定を受けたことをはじめ、平成 23 年には山口県より「やまぐち子育て応援優良企業表彰」を受賞し、ワークライフバランスの普及を担う代表的企業として広く認知されています。

しかし、今後も私たちが充実した人生を送っていくには、当行のみが単独で環境整備を進めても、十分な成果は得られません。

人口減少、少子高齢化が進む山口県経済を、時にはリーダーとなって、時には産学公金コーディネーターとして活性化して行くことが不可欠です。

そのためには、職員一人一人が自ら積極的にスキルアップを図り、幅広い知識と先見性、実行力を兼ね備えた精鋭を目指して行くことが必要です。

ここにおいて当行は、今年度を「人材教育元年」と位置づけ、平均退行時間 18 時 30 分への挑戦他、様々な支援策を通じてワーク（仕事）とライフ（生活）の融合による双方の充実を目指し、「ワーク・ライフ・インテグレーション」を推進することを宣言します。

積極的に勉強する風土を確立し、積極的にセルフスキルアップを目指す組織への転換を図り、お客さまが何を必要とし、何を求められているのか、コミュニケーション能力と提案力を強化し、高い次元の満足度を提供する銀行を目指します。

平成 26 年 4 月
株式会社西京銀行
取締役頭取 平岡英雄